



市辺地区まちづくり協議会広報誌

# 万葉のまち 市辺

第43号

平成30年4月

桜満開のグラウンドに響くボールの音  
東市辺「草の根グラウンド」にて

発行：市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2391  
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392  
ホームページ 万葉のまち市辺 [ichinobe.com](http://ichinobe.com)



万葉のまち市辺

検索

## 減災プロジェクトだより

市辺まち協・減災プロジェクト  
責任者 榎木 貞夫

平成28年度から取組をはじめ、2年目が過ぎました。減災プロジェクトの活動もやっと軌道に乗ってきた感じです。これも皆さんが「自分の命は自分で守る」という基本的なことを理解し、積極的に活動していただいているおかげと感謝しています。

今後の方向性として考えていることをお知らせして、今年度も皆さんに更なるご協力をお願いしたいと思います。

まず、自主防災組織が全自治会に設置されるよう頑張りたいと思います。そのために、組織立ち上げの経緯や準備など苦労話を中心に意見交換会を4月に実施する予定です。

次に、「地震に備えて」のシリーズを引き続き発行します。

内容も、子どもから高齢者まで皆さんに分かり易いものにして、地区全体で共有できる財産になるよう努力したいと思います。

また、独居高齢者や障がいをお持ちの皆さんの安全を守るために何が出来るのかを最大のテーマとして取り組むこととしていますので、関係各位のご助言、ご協力をお願いいたします。



## 体育協会からスポーツ協会へ変更

市辺地区スポーツ協会  
会長 松本 勝

平成30年度より、国・都道府県・市町村・地区の体育協会は、長年慣れ親しんできた「体協」から「スポーツ協会」に名称変更となります。これは、東京オリンピックを2年後に控えスポーツをより楽しんで貰おうと言う趣旨のようです。

今後、市辺地区のみなさんの健康増進の場、交流の場、また人材育成にもつながり市辺地区の活性化になれば幸いです。

平成29年度、体協事業におきましては、住民のみなさまに大変お力添えを頂きありがとうございました。5月から7月にかけて、野球など8種目の球技大会市辺予選が行われました。優勝チームは東近江総合体育大会へ市辺代表として出場されました。12月には、東近江市駅伝大会があり、5連覇の偉業を成し遂げました。

東近江市総合体育大会での総合成績で第2位となり3月23日に表彰を受けました。当日閉会式があり平成29年度の活動が終了いたしました。

本年度におきましても、市辺地区住民のみなさんにスポーツ協会にさらなる応援をお願いいたします。



## 一人暮らし高齢者への見守り給食

市辺社会福祉協議会  
会長 平尾 彌一

市辺地区では、約20年前から地区内に住んでおられる独居高齢者への見守り給食が行われています。

これは、給食ボランティア(約100人)がグループに分かれて月2回調理された昼食弁当を民生委員さんに見守りを兼ねて自宅へ弁当を届けて頂くものです。

今では、東近江市内で見守りが実施されて、給食材料費は市社協から支給されています。

先月まで月2回のうち1回は市社協から1食単位300円、もう1回は善意銀行からの助成で運営していました。ところが、この4月からは300円から250円に減額され、しかも、善意銀行からの助成は廃止となり、助成は市社協からの月1回分のみとなります。



利用されている方には、とても大事な給食であり、減らすわけにはいきません。つづけていく為の方策を皆で考えていかなければなりません。

## 自然・環境部

### 「リサイクル工場」見学研修

厳寒の1月30日、自然環境部で年間事業の一つである「見学研修」を実施しました。

毎回、環境に配慮した施設や工場を見学してきました。今回は、三重県伊賀市にある関西リサイクルシステムズ株式会社 第二工場を見学しました。



到着して会議室において事前の説明を聞いて、2班に分かれ、ヘルメットとガイドホンを付けて担当者の説明を受けながら工場内の作業を見学しました。

この工場で扱われているのは家庭で使用しなくなったブラウン管テレビと旧薄型テレビです。

工程は、まずリサイクルシールがコンピューターで読み取られ、順に解体されて、それぞれの部品に分類されます。鉄・アルミ・銅・ガラス・プラスチック・ビニール・その他等に、細分化され再資源化可能な状態になるため、ほとんどゴミにせず生かされているのです。

私たちが支払うリサイクル料が、地球環境の汚染防止、新資源の節約につながるのだから、子どもや孫たちの未来への投資なのだと感じる事が出来ました。(報告:小西自然・環境部長)



## 講演会「佐々木六角氏の時代」

2月17日(土)市辺れきし発見塾として、「佐々木六角氏の時代」と言うタイトルで、安土城考古学博物館に勤務しておられる、松下浩氏に講演をお願いしました。

佐々木氏は奈良時代からの豪族で、織田信長に滅ぼされるまで、近江一帯を守護大名として支配していました。佐々木家は、京都の京極を治めていた一族と、六角を治めていた一族があり、蒲生郡は佐々木六角が治めていました。

戦国時代であり戦は絶えなかったようです。応仁・文明の乱から伊庭氏の乱があり、布施氏とも、長い戦がありました。系図の紹介や手紙のやり取りの話も交えて興味深い講演でした。



## 「長谷地蔵と蛇つなぎ石の謂われについて」

3月17日(土)開催の、市辺れきし発見塾は、「長谷地蔵と蛇つなぎ石の謂われについて」のお披露目会でDVDを見て頂きその後クイズを出題し解答して頂きました。

このビデオは、テレビ番組「世界ふしぎ発見」をまねたもので、レポーターが質問して歴史の勉強をしていくもので、楽しく見てもらえるように作ってあります。

今回の話は、蛇溝町にある長谷地蔵について説明しています。毎年1月24日と8月24日に縁日があります。今も賑わっていますが、古くは、「馬かけ」や「相撲大会」がありましたので、もっと賑わっていました。

「蛇つなぎ石の謂われについて」は、蛇溝町の奥村克美氏の絵と文で解説しています。上手な絵で物語の内容を説明しているので好評でした。長谷地蔵の前にある「蛇つなぎ石」は上部が少ししか見えませんが、「地中深く大きな石があり、その下には大蛇が埋まっている」と言う話です。400年前の話ですが、不思議な話です。

クイズもビデオを見ていれば分かるもので、全員が正解で、置時計の賞品を10人の方に、ブロッコリーを全員の方に、差し上げました。

このDVDは、各自治会に配布し、回覧で、見てもらうように手配いたします。皆さん是非見て下さい。(報告:平尾歴史・文化部長)



## 晴天のもと「市辺歩こう会」



3月3日(土)市辺コミセンでAEDの取り扱い講習に引き続き避難訓練を兼ねた歩こう会が25名の参加者で行われました。午前10時30分コミセンを出発約12kmの完歩に向け、太郎坊山を背

に田園地帯を通り抜け12時頃布施公園で一息つき、昼食を楽しみに布引スタジアムを目指して歩き出しました。

12時30分頃到着、市辺コミセン職員さんに準備して貰った豚汁、おにぎりを美味しくいただきました。毎年布引スタジアムスタンド下にある東近江市災害時備蓄倉庫を見学「備えあれば憂いなし」を実感しました。

午後2時30分頃全員無事に市辺コミセンにゴールお疲れ様でした。

## このまち「この人」

### 「よし笛サークル」の紹介

ある時よし笛の演奏を聴く機会があり、やさしく澄んだ音色が耳に心地よく響いてきました。こんな音色をみなさんにお伝えできたらいいなあの思いから、私たちは「日本よし笛の会」に入りました。

びわ湖に自生する「ヨシ」は、びわ湖の浄化にとっても役立つことも教えてもらいました。環境にもやさしいと知ると、ますます「よし笛」に愛しさを覚えました。

さて、練習を始めてみると思うように指が動いてくれません。口の形、舌の動かし方など先生のご指導のもとで悪戦苦闘しながらも、先日は市辺コミセンや東市辺のふれあいサロンで初めての演奏?を聴いていただきました。

「人の心に響く」ように吹ける日をめざして、そして私たち自身の老化防止をめざして練習に励んでいます。現在、サークルメンバーは東市辺の4人ですが、興味のある方は是非一緒にいかがですか。お待ちしております。

(写真左から吉岡さん、角さん、寄稿者の平尾さん、川合さん)



### 編集後記

今回は広報誌の表紙について触れたいと思います。今年度の表紙は「市辺の景色と人」をテーマにしたいと考えています。広報誌がご家庭に届く頃には桜も散っていますが、3月初めの広報部会で4月号は、桜の綺麗な所を各役員が撮ろうと決めました。

昨年は、あかね幼稚園の開園、船中の運動会、西小学校で行われた熱気球フライト、親子凧揚げ大会など子どもたちを中心に。一昨年は、古くから伝わる行事を取り上げました。みなさんのご協力で、市辺を感じる写真が表紙を飾っています。みなさん、市辺地域の「旬の景色」の写真を撮って、広報誌の表紙にぜひ投稿して下さい。(明)

# 部会だより

## 自然・環境部

### 「楽しみながら活動」

突然の声かけの時もあります。それでも都合のつく限り、集まってくださいます。天候の都合で中止になることもあります。場合によっては年度をまたがる事業もあります。継続してくださるからこそ、それも可能なのです。毎回、明るく、楽しく、これが当部のモットーです。

今年度は、秋に収穫した大豆で「豆腐作り」を計画しています。現在、試作を繰り返していますので、皆さんにお声かけ出来るのは5月以降になります。

その節は、お誘い合わせご参加ください。出来たてのお豆腐を楽しくいただきます。

## 健康・福祉部

健康福祉部では、昨年同様、生活習慣病の予防と改善をめざし、皆様の健康のサポートをさせて頂きたいと思っています。健康と長寿をテーマにしている大阪万博も実現へ向かって進んでいます。健康でこそ自分のしたい仕事や趣味ができます。病気になって初めてわかる健康の有難さ。健康第一です。

本年度の活動計画は、①2年毎の割合で行っています天然酵母パン教室を8月に開催、②万葉フェスタに今年は、天然酵母パンの販売、③マクロビオティック料理教室を11月に行う予定です。

お子さん、お孫さん連れ大歓迎ですので、奮ってのご参加お待ちしております。

## 子ども健全育成部

私たち子ども健全育成部は市辺地区まちづくり計画書にあるように「子ども達の心豊かな個性を育むまちづくり」をテーマとしていますが、具体的な事業となると「何をすべきか」と考えあぐねています。

平成30年度は、その必要と共に、「何をすべきか？」という事を部会で話し合い結論づけたいと思っています。

また、万葉フェスタの中で子ども健全育成部として、取り組める事がないか、部会で考えてみたいと思っています。

## 安全・安心部

安全安心部の29年度の活動は、以下の様な内容となりました。

- ・防犯パトロール（夏期および年末の2回）への参加
- ・市辺地区防災マップ仕上げと各地区自治会への配布（ふれあい運動会にて）
- ・普通救命講習会の開催（8名受講・八日市消防署にて）
- ・減災のまちづくりプロジェクトへの参加

平成30年度については例年通りの活動に加えて新たな内容に取り組んでいきたいと考えています。具体的な内容は検討中ですが、減災プロジェクトを介して様々な問題点が浮かび上がってきていると痛感していますので、やるべきことの中で我々でもできることから少しでも着手できればと考えています。

## 地域活力部

今年は、額田王が蒲生野市辺地区で「あかねさす紫野行き…」の歌を詠んでから1350年となります。この件で県民活動生活課共同推進室の主催により3月19日に「絶滅危惧種ムラサキを活用した地域活性化プロジェクト1350年の集いについて」が開催されました。日々ムラサキに携る人、関心のある人約30名の参加で、京都市、神戸市からも参加され、市辺まち協からも4名が参加しました。やはり栽培に苦慮している声が一番多く、現在のところ化粧品・漢方薬にムラサキを生産販売されている業者は殆どが中国産を使用しているそうです。今後このプロジェクトの取り組みとして「ポスターやのぼり旗等を公共施設、駅、パーキングエリア等に掲示して欲しい」と発言しました。

## お手伝い頂ける方募集

市辺地区まちづくり協議会では「助け合い・支えあい・認め合い」を合言葉（愛言葉）にみんなと楽しめて喜び合える“万葉のまち市辺”を目指しています。あなたの趣味や特技を“まちづくり”に生かしてみませんか？

連絡をお待ちしています。

連絡先 AM 050-5802-3392 市辺まちづくり協議会  
PM 050-5801-0203 市辺コミュニティセンター

## 歴史・文化部

歴史文化部は、毎年度市辺地区の歴史や文化をテーマにした「市辺れきし発見」のDVDを作成しています。

今年度は「虫送り」の行事を取材して作成する予定です。各町で行われている、また、かつて行われていた「虫送り」についての情報がありましたら、歴史文化部までお知らせください。

その他には、3年かけて「御代参街道を歩く」計画や、地域の歴史を知るために「古文書を読む」講座なども考えています。

また、今年は、額田王と大海人皇子が歌を詠まれた蒲生野遊獵から1350年の節目の年になります。蒲生野、万葉集、紫草（むらさき）などをテーマにした講演会を開催する予定です。